あまみ 市議会だより

No.51
2018.12

平成３０年１１月１１日　市民体育祭

第３回定例会

平成30年9月3日～9月25日

発行／奄美市議会
編集／奄美市議会だより編集委員会
〒894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町２５番８号
ＴＥＬ：(0997) 52-1111
ＦＡＸ：(0997) 52-2815
Ｅメール：gikai@city.amami.lg.jp

第3回定例会一般質問・・・・・・・２Ｐ～6Ｐ
第3回定例会常任委員会の審査概要・・・・7Ｐ
第3回定例会の主な議案／お願い・・8Ｐ～9Ｐ
第１１回議会報告会・・・・・１０Ｐ～１３Ｐ
活動報告・・・・・・・・・・１４Ｐ～１５Ｐ
お知らせ／あとがき・・・・・・・・・・１４Ｐ

議会録画配信はこちら

1日目
1 川口 幸義
2 橋口 和仁
3 竹山 耕平
4 与 勝広
5 三島 照

2日目
1 平川 久嘉
2 栄 ヤスエ
3 関 誠之
4 橋口 耕太郎
5 奥 輝人

3日目
1 戸内 恭次
2 林山 克巳
3 崎田 信正
4 安田 壮平

第３回定例会 一般質問

市政を問う

９月４日・５日・６日の３日間で１４名の議員が市政全般にわたる施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

左記の二次元バーコードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会ホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。

※質問順に掲載

議会録画配信

奄美群島の行動計画について

川口 幸義
（自由民主党）

問 奄美群島の行動計画について

答 今回の延期勧告の理由については、推薦地は連続性に欠け、遺産の価値の証明に不必要な分断された小規模な区域が複数含まれていること・推薦地の連続性の観点で、沖縄の北部訓練場返還地が重要な位置づけにあるが、推薦地に含まれていないことの２点となっている。行動計画については、６月議会でも答えたとおり、推薦書とともに提出された「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産推薦地包括的管理計画」の具体的な行動計画としてそれぞれの島ごとに定められたものである。

【その他の質問】
○住用町和瀬集落の危機管理について
○土木行政について
・コンサル業者指名の在り方について
・最低制限価格について
・小宿漁港について
○本場大島紬協同組合と本場大島紬販売協同組合の合併に向けての取り組みについて

サトウキビのセーフティネット基金活用について

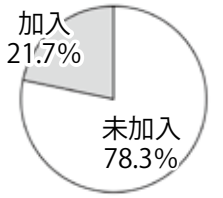
橋口 和仁
（自民新風会）

問 台風被害に於ける、サトウキビのセーフティネット基金活用について

答 （単収が対平年７中５年平均）10％以上の減収が見込まれる場合、土づくり、新植・補植・かん水作業等の取組を支援するセーフティネット型の基金として運用される。台風19号の減収は、９％であった。

問 サトウキビ共済の加入率について

答 奄美大島の加入率は21.7％で、奄美群島全体の45.62％、鹿児島県全体の57.8％を下回っている状況。



サトウキビ共済
奄美大島加入率

問 収入保険制度について

答 平成31年１月からスタートする収入保険制度は、現行の農業災害補償制度と異なり、品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下などを含めた農業経営全体の収入減少を補償する仕組みの国の共済制度であり、農家経営のセーフティネットとしての役割を担う事が期待される。

【その他の質問】
○防災・災害情報の伝達手段について
○児童・生徒の教育環境整備について

黒糖焼酎産業の振興について

竹山 耕平
（自民新風会）

問 黒糖焼酎産業の現状と事業展開について

答 今年度より海外販売拡大の支援策として日本貿易振興機構（ジェトロ）の運営負担金を拠出している。関係市町村・広域事務組合・鹿児島県とも連携し、酒造組合とも協議を重ね具体的な要望等を踏まえ今後も対応したい。

問 ノネコセンター運用状況・課題について

答 捕獲実績（8月31日現在）13頭のノネコが捕獲された。今後は捕獲機の設置方法や設置場所等試行錯誤しながら捕獲効率を上げていく計画。また、広報紙等を活用し譲渡希望者を募っていく。

問 野良猫のTNR事業状況と島内他4町村の取り組み状況について

答 ノネコ発生源対策として左記の通り。課題であるモニタリング調査を平成31年度から5市町村、統一して奄美大島ねこ対策協議会で行う計画。

	これまでの実績	H30 計画
奄美市	837 匹	440 匹
龍郷町	725 匹	240 匹
瀬戸内町	393 匹	150 匹
大和村	272 匹	100 匹
宇検村	155 匹	100 匹
合計	2382 匹	1030 匹

ノネコセンター

市長の政治姿勢について

与 勝広
（公明党）

問 中心市街地活性化基本計画、末広・港土地区画整理事業とマリンタウン事業完了後の効果及び成果について

答 中心市街地活性化基本計画については、賑わいに満ちた中心市街地の形成を目的に、平成29年度から平成33年度の5ヶ年を事業期間とし「市民交流センター」や「子育て・保健・福祉複合施設」の整備などに併せ様々なソフト事業を展開することにより、多くの市民や観光客が集まり交流できるまちづくりを目指している。

末広・港土地区画整理事業は、市街地への良好なアクセスや防災機能の強化に努め、賑わいに満ちた魅力ある中心市街地を整備する事を目的に、実施している。

名瀬本港地区の埋立事業については、中心市街地を補完する新たな業務用地の整備と末広・港土地区画整理事業やその他の各種公共事業における代替用地を確保することを目的とし奄美市開発公社において整備を進めているところである。

自衛隊基地建設に伴う経済効果について

三島 照
（日本共産党）

問 自衛隊基地建設に伴う経済効果について

答 基地交付金は、自衛隊が飛行場、演習場、弾薬庫、燃料庫及び通信施設の用に供する国有財産を対象とする交付金で当該交付金予算の対象となる全国の国有財産で按分して算定されることからまだ把握できていない。

問 自衛隊基地建設に伴う歳入を見込んで市民への活用計画はあるのか

答 自衛隊配備後の歳入増加額も見極めた上で新たな施策の計画・展開について検討を進めたい。

問 公契約条例制定に向けて検討がされているのか、現状と課題は

答 庁内検討委員会や、庁内事務担当者で組織する検討プロジェクトチームの意見交換を実施し、条例の適用範囲、労働報酬下限額の決定方法、実効性の確保に伴う実務量の増加など課題が見えてきた。建設業の資金調達の円滑化を支援する中間前払制度入札制度の見直しも取り組んだ。

【その他の質問】

○中小企業振興条例について

○教育行政について

世界自然遺産登録へ向けての再取組み

平川　久嘉
（無所属）

問 国際自然保護連合（IUCN）の登録延期で指摘された後の取組みは

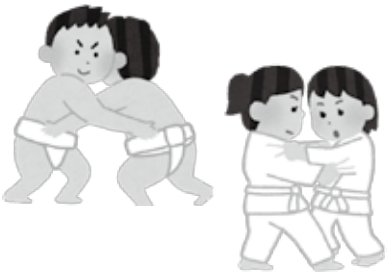
答 地域連絡会議において来年2月1日までには推薦書を再提出し、2年後の登録を目指す。沖縄県との連携した職員派遣、広域圏交流事業や地域住民の理解と支援を得るための各種団体向けの出前講座や希少種保護の街頭キャンペーンなどを実施、登録に向けての機運の醸成を再度図っている。

問 奄美らしい景観保全は

答 良好な景観の保全・活用を図るため、市全体の景観計画の作業を進めている。景観形成方針や景観計画区域、良好な景観の形成のための制限に関する事項等を定め、具体的には各種団体、建築や自然・文化の専門家、関係業界関係者などで構成する策定委員会等で検討していく。平成31年度中の条例制定を予定する。

問 武道教育の現状は

答 中学校体育の授業における武道は各学校の特色に応じて10時間程度で計画、武道の伝統的考え方、相手を尊重する練習などが成果として期待される。



防災行政 市民の健康増進について

栄　ヤスエ
（公明党）

問 災害発生時の避難所運営マニュアル作成状況は

答 長期にわたる避難所運営は、避難者、地域、市が相互に協力・連携し運営することが必要。本年5月に策定し、奄美市ホームページにて公開中。

問 高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種事業の経過措置が今年度まで。接種できなかった市民の救済措置について

答 未接種者に対しては、広報紙で再周知を行っているが、他の方法も検討し、多くの方に接種して頂きたいと考えている。

問 ロタウイルス予防接種の公費助成で保護者の負担軽減はできないか。

答 ロタウイルスは感染力が強く、5歳までにほぼ全ての子どもが感染すると言われている。ワクチン接種費用は、1万4千円～1万5千円で全額自己負担。公費助成については、検討していく。

【その他の質問】
- ○スクールソーシャルワーカーについて
- ○学校に登校できない児童生徒について
- ○防災マップ作成について

ロタウイルス

主な症状は、水のような下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛で、乳幼児は激しい症状が出ることが多いウイルス。感染力が強く、ごくわずかなウイルスが体内に入るだけで感染する。

奄美市中心商店街の将来像について

関　誠之
（社会民主党）

問 奄振法延長・拡充についての市長見解

答 奄振延長の目玉は、農林水産物の移出コスト支援に加え、加工品の移出や原材料等の移入にかかる輸送費支援、航路・航空路運賃軽減の拡充を住民に準ずる者（群島外の学校等に進学する学生など）にも適用し、平成30年度までの時限措置の「観光キャンペーン事業」を継続することと考えている。

問 奄美市中心商店街の将来像について

答 「市役所本庁舎の建設」「市民交流センター」「子育て・保健・福祉複合センター」など大型事業が進行中であり、中心市街地に都市機能が集約され、利便性が高まり、子供からお年寄りまで世代間を問わず快適な生活空間が形成されると期待している。今後の中心市街地活性化計画は、旧計画の課題や反省点を整理したうえで作成した。数値目標や民間事業との連携、毎年事業検証を行い確実に推進する。

【その他の質問】
- ○笠利学校給食センターの委託状況について
- ○オスプレイの緊急着陸について

市民参加型の防災シンポジウムの開催を

橋口 耕太郎
（公明党）

問 年に1度防災についての市民参加型のシンポジウムの開催はできないか

答 奄美豪雨災害の教訓を風化させないよう市民に防災意識を持ってもらうことは非常に大事。これまでの取組みと併せ効果的なプログラムや開催方法等を検討したい。

問 老朽化した水道管の整備計画は

答 末広・港土地区画整理事業や名瀬港マリンタウン整備事業と連携を図りながら基幹管路の整備を図っている。今後、病院、避難所等への重要給水施設を優先に更新及び耐震化を図る。

問 小中学校普通教室へ冷房設置はできないか

答 前回定例会で島根県松江市の家庭用機器の導入の紹介があったが、暑さ対策の解決方法の一つとしてその検証情報を参考にしたい。また、国の動向を注視し対策方法も含め検討したい。

問 幼児教育無償化について本市の見解は

答 幼児教育を推進する重要な施策。国には早く詳細の整備・説明、地方との協議を行い必要な準備期間を設けて実施していただきたい。

西郷どんの波及効果は？

奥 輝人
（自由民主党）

問 西郷どんの波及効果について

答 観光客の増加と共に、ロケ地を訪れる市民の増加も見られ奄美編の放送による市民の意識の向上も図られ、島内外で効果が出ていると感じる。

問 奄美空港の名称を「奄美愛加那空港」へと提案するがどうか

答 関係機関と協議をし、検討していく。

問 消防団の活性化について、奄美市の団員数と充足率について

答 左記のとおりである。

地区別	条例定数（人）	実員（人）	入団率（%）
名瀬	262	234	89.3
住用	58	50	86.2
笠利	132	115	87.1
全体	452	399	88.3

問 団員の確保対策について

答 消防団合同訓練時や消防団幹部会・ホームページ及び奄美FMラジオ・奄美市だより等で募集を積極的にPRを行っている。

問 笠利地区の土層改良事業の計画について

答 今年度から、宇宿・万屋地区を予定し、完了次第、須野・崎原地区・辺留・大笠利地区を考えている。

問 畑総地区以外への導入について

答 節田の犬山地区・平の坂山田地区については、県単事業が可能であり、事業採択に向け、要望していく。

© 鹿児島県

LCCの利用について

戸内 恭次
（無所属）

問 LCCの利用について

答 平成29年度の、成田関空便の2路線合計は約19万6千人であった。

問 LCCの経済効果は

答 約77億8700万円と試算している。

問 LCCへの補助金投入について

答 奄振交付金を活用した事業効果が表れており、来年度の奄振予算でも補助を継続する見込みである。

問 スカイマークの利用状況について

答 中部～鹿児島、鹿児島～奄美路線の8月の搭乗率は、約8割ほどであった。

問 セットバックにより生じた土地の管理について

答 現状は土地所有者が管理しなければならないが、市の管理や寄付の受入れについては研究課題とする。

問 公園のトイレ改善を

答 金久、朝日両公園は洋式化完了、赤崎、三方両公園は本年度事業で実施、来年度は井根公園の洋式化を実施予定。

問 観光客にもわかりやすいトイレ案内板設置を

答 ふれ愛パーク壁面に本年度内に設置予定。

問 奄美で肥育業は可能か

答 肥育業は厳しいと考える。

奄美市の夢・希望 未来への展望について

林山 克巳
（自民新風会）

問 ふるさと納税の進捗状況と展望について

答 平成27年度1653億円、28年度2844億円、29年度3653億円と伸びており、「ふるぽ」・「楽天」そして新たにSNSを活用してさらなる展開を考えている。ふるさと納税制度終了後もこのスキルを構築して特産品販売に活用していけると期待している。

問 末広・港土地区画整理事業とマリンタウン整備事業について

答 測候所街区における「子育て・保険・福祉複合施設」、「バスセンター・複合施設」などハード面での整備も計画され、同時にソフト事業を通して賑わいのある商店街を目指している。マリンタウン事業においては、平成31年度に土地の分譲手続きを開始する。

問 ICT活用に向けてのさまざまな取り組みについて

答 教育分野において、電子黒板・タブレットを活用して「質の高い授業」を目指し、観光振興においては、観光客対応の要を担い、また労働人口減少の切り札としても期待している。

問 夏のレジャー施設「流れるプール」について

答 大浜海浜公園の整備を進め「海」の魅力発信に取り組んでおり、観光拠点の整備に取り組んでいる。

大型クルーズ船の経済効果と船の規模は

﨑田 信正
（日本共産党）

問 大型クルーズ船の経済効果と船の規模は

答 1回の寄港で経済効果は5800万円と試算している。施政方針での大型クルーズ船は7万～8万トンを想定している一般的には10万トン以上。

問 子ども食堂の本市の実態は

答 NPO法人、個人事業所主体で5箇所ある。子ども食堂のみを対象とした補助等は行っていない。

問 本市全域を対象とした商店版リフォーム制度の実施を

答 現在実施している店舗リフォーム制度は、中心市街地の商業集積の立地促進を図るため、区域内でのリフォーム工事の促進を目的としている。地区外からの要望も出ており今後の検討課題としたい。

問 生活保護世帯のクーラー設置の現状について

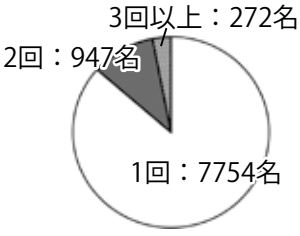
答 厚生労働省は、一時扶助で冷房器具の購入を認めることになった。支給対象世帯は7月末で18世帯となっている。説明や相談に応じて適切な対応に努めている。

全ての高校生にバス通学費支援を！

安田 壮平
（自民新風会）

問 ふるさと納税寄付者のリピート率は

答 29年度末現在、延べ8973名に対し、2回の方947名、3回以上の方272名で、リピート率は約13.5%。



問 頂いた寄付金の活用状況を公表しているか

答 小中学校の電子黒板やタブレット、あやまる岬のファンシーサイクルなどにシールを貼付して分かるようにしている。今後は広報紙やSNSなどでも公表・発信したい。

問 地域おこし協力隊の来年度以降の展開は

答 笠利・住用地区をはじめ、協力隊を募集する案件の調査や地域の課題を整理し、検討したい。

問 笠利から名瀬への高校バス通学支援について

答 住用から名瀬に通う生徒には1／3、笠利町外から大島北高に通う生徒には2／3のバス通学費補助がある。笠利から名瀬に通う生徒には補助がなく、現在23名程がバス通学している。進学校選択の動向調査や大島北高の生徒数への影響等を分析し、多くの方々から意見を頂いて検討したい。

ふるさと納税購入品
貼付用ステッカー

第３回定例会
常任委員会
審査概要

９月１２日　文教厚生委員会
９月１３日　産業建設委員会
９月１４日　総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
補正予算の審査について一部ご紹介します。

総務企画委員会

地方創生推進費　奨励金助成金　▼479万円

一定の要件を満たした移住者に対して行なっている住宅購入費及びリフォーム助成の申請が増えたことにより増額したもの。

奄美歴史探訪「幕末・明治」推進事業費負担金　▼89万8千円　減

県の地域振興事業に採択されたことによる減額補正。西郷隆盛ゆかりの地やＮＨＫ大河ドラマロケ地、白糖工場跡、南島雑話、琉球嶌真話（とうしんけい）に描かれた場所などの周遊ルートを構築し、観光パンフレットを作成するもの。

光ブロードバンド基盤整備事業負担金　▼1260万円　減

奄美市の光ブロードバンドサービスの市内未整備地区への光ブロードバンド整備について、その費用の一定額を市が負担し、民設民営方式による基盤整備を図る事業。ＮＴＴ西日本との協定額が定まったため減額するもの。

問 光ブロードバンド基盤が１００％整備されることによって期待できる効果は。

答 １００％整備できることで当然全世帯が光ブロードバンドを利用できるということで、情報化としては大変な進歩と考えている。

産業建設委員会

観光施設整備費　工事請負費　▼1318万9千円

大浜海浜公園内の第一駐車場先の芝生広場に休憩棟として高倉の整備費及び、芝生広場に建設中のバースハウスの外構工事として計上したもの。

特定環境保全公共下水道建設費　工事請負費　▼4000万円

赤木名地区の処理場にかかる杭基礎補強工事にかかるもの。

観光費　委託料　▼1300万円

多言語観光案内パンフレット製作費や、インバウンドセミナー業務等にかかるもの

問 多言語案内パンフレット制作業務とは

答 奄美大島観光ガイドマップ・のんびり奄美を英語・中国語の繁体字・簡体字・韓国語の４カ国語で作成を行う。またホームページに掲載するためのデータも作成する業務である。

本場大島紬購入費等助成金▼500万円

本場大島紬の振興を図るため、反物の購入及び仕立て費用の一部の助成を行うもの。

文教厚生委員会

若年末期がん患者に対する療養支援事業　▼86万4千円

在宅療養を行う40歳未満に支援するもの。

問 対象者は何名なのか

答 県内で年間10名程度、本市においては年間１名から２名程度を見込んでいる

地域再犯防止推進モデル事業　▼268万円

青少年支援に実績のあるＮＰＯ法人に一部業務委託をして進める予定のもの。

問 地域再犯防止推進モデル事業の詳細は

答 非行傾向にある青少年に対する実態調査をＮＰＯ法人と合同で行い、お互いの信頼関係を構築するとともに、関係機関との連携や必要な取り組みを検討し、個別に適切な助言などを行う。

社会教育施設管理費　工事請負費　▼3500万円

奄美振興会館全体の空調機器を一括管理する中央監視装置の経年劣化に伴う取り替え更新工事にかかるもの。

文化財保護費　▼77万1千円

開発行為の計画段階において埋蔵文化財の有無やその影響等について照会し埋蔵文化財の保護と開発行為の進捗に影響が出ないよう協議調整を図りながら実施するもの。

第３回定例会の主な議案

＊付託委員会の一般会計決算等審査特別委員会は「一般会計」、特別会計決算等審査特別委員会は「特別会計」と記載しています。

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会＊
	専決処分の報告について （専決第８号　和解及び損害賠償の額を定めることについて）		
議案第 61 号	平成 30 年度奄美市一般会計補正予算（第２号）について	原案可決	全委員会
議案第 62 号	平成 30 年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）について	原案可決	文教厚生
議案第 63 号	平成 30 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第１号）について	原案可決	文教厚生
議案第 64 号	平成 30 年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）について	原案可決	文教厚生
議案第 65 号	平成 30 年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）について	原案可決	産業建設
議案第 66 号	平成 30 年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）について	原案可決	産業建設
議案第 67 号	平成 30 年度奄美市水道事業会計補正予算（第１号）について	原案可決	産業建設
議案第 68 号	奄美市行政不服審査会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 69 号	奄美市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第 70 号	奄美市手数料条例に一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第 71 号	奄美市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例に制定について	原案可決	文教厚生
議案第 72 号	奄美市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第 73 号	奄美市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第 74 号	新たに生じた土地の確認について	原案可決	総務企画
議案第 75 号	町の区域変更について	原案可決	総務企画
議案第 76 号	財産の取得について	原案可決	総務企画
議案第 77 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案第 78 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案第 79 号	平成 30 年度奄美市一般会計補正予算（第３号）について	原案可決	全委員会
議案第 80 号	平成 30 年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算（第２号）について	原案可決	産業建設
議案第 81 号	平成 29 年度奄美市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査	一般会計
議案第 82 号	平成 29 年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第 83 号	平成 29 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計

▽　左ページへ続く　▽

▽　右ページの続き　▽

議案第84号	平成29年度奄美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第85号	平成29年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第86号	平成29年度奄美市訪問看護特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第87号	平成29年度奄美市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第88号	平成29年度奄美市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第89号	平成29年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第90号	平成29年度奄美市と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第91号	平成29年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第92号	平成29年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について	継続審査	特別会計
陳情第5号	ミサイル部隊配備反対の市議会決議を求める陳情	取下承認	本会議

議会からのお知らせ

請願書や陳情書が提出できます。

市政などに対して意見や要望があるときは、市議会に請願書や陳情書等を提出することができます。請願書を提出するときは議員の紹介を必要としますが、陳情書の場合は必要ありません。提出期限がございますので、ホームページをご覧頂くか議会事務局までお問い合わせ下さい。

年賀状などのあいさつ状は禁止されています。

（公職選挙法第１４７条の２）

政治家は、その選挙区内にある者に対して年賀状・寒中見舞状等のあいさつ状を出すことが禁止されています。
皆様のご理解とご協力をお願い致します。

第11回議会報告会

奄美市議会では、開かれた議会をめざして市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせし、皆さまからのご意見を市政に反映させるために議会報告会を実施しています。皆様からの貴重なご意見は、今後の議会報告会のあり方や議会運営の参考とさせていただきます。第１１回議会報告会は、６月２日に市内４か所で開催されました。

名瀬会場

ＡｉＡｉひろば

担当議員
橋口耕太郎・松山さおり・津畑誠
関誠之・多田義一

参加者数 11 名

小湊地区集会場

担当議員
平川久嘉・里秀和・林山克巳
伊東隆吉・元野景一・竹山耕平

参加者数 17 名

住用会場

市集会場

担当議員
栄ヤスエ・安田壮平・渡雅之
師玉敏代・大迫勝史・三島照

参加者数 31 名

笠利会場

節田生活館

担当議員
戸内恭次・﨑田信正・与勝広
奥輝人・川口幸義・西公郎

参加者数 22 名

行政当局からの回答

市民の皆様からいただいたご質問やご意見について行政当局からの回答をご紹介します。

Ｑ１　ポイ捨て条例で自動販売機を設置している場所は，ゴミ箱を設置するとなっている。これは努力義務で，努力義務は設置しなくてもいいと良いということなのか。条例であれば罰則規定を設けて欲しい。

Ａ．　ポイ捨て条例の本来の目的は，市民，事業者，行政が一体となって清潔で美しいまちづくりを推進することにあります。設置したゴミ箱には，空き缶以外のものが投入される等の利用者のマナーの問題もあり，やむを得ずゴミ箱を撤去に至った場所もあるようです。

条例に罰則規定はありますが，まずは利用者のマナーの徹底を図り，併せて事業者へゴミ箱設置の協力を求めていきたいと考えております。

Ｑ２　小湊フワガネク遺跡について，フワガネク遺跡保存と隣接する歴史資料館整備（博物館）における検討委員会が開催されないのはどうしてか。

Ａ．　小湊フワガネク遺跡の保存及び展示公開施設の整備等については，平成 30・31 年度で実施する「史跡小湊フワガネク遺跡史跡等保存活用計画策定事業」の中で取り組んでいきます。

平成 30 年度は，地元の小湊町内会をはじめ，専門家の先生方，国・県等の関係各機関で委員会を組織し，小湊フワガネク遺跡の保存管理に係る現況や今後の活用に関する話し合いを行います。

Ｑ３　防犯灯の設置について自治会・集落が管理しているが，地元に負担をさせず市の予算の中で全額負担はできないものか。

Ａ．街灯設置費補助金交付要綱に基づき，自治会等が設置する際の申請に対し，補助金を交付しております。LED 新設，または蛍光灯から LED への移行 1 灯につき上限 15,000 円，専用支柱を伴う設置の場合は 1 灯につき上限 25,000 円で補助を行っています。なお，近年は LED の本体価格も年々下がっているため，LED 移行 (支柱設置を伴わない) については 90%程度の補助率になっている状況であります。

Ｑ４　博物館企画展事業について，奄美は歴史的調査がなされてないと思う。この事業には調査項目があるのか。市集落は八箇所にオデイ（山の神）があり，管理を各組で行っている。今，残せるものは記録として残して欲しい。ぜひ調査をお願いしたい。

Ａ．博物館の常設展示や企画展示に際しては，事前の調査・研究を十分に行い，その成果を下に開催をしているところです。

また，博物館業務及び文化財保護業務の一環として，歴史・民俗・自然等の調査・研究を実施しており，平成 29 年度には住用市集落のオデー（御嶽・御岳）７箇所（うち２箇所は消滅）の確認調査をさせていただいたところです。今後，集落の方々の協力をいただきながら，調査・研究を進めていきたいと考えております。

※オデー・オデイ ･･･ 信仰の対象となる聖地の呼称

次ページへ続く

行政当局からの回答

Ｑ５　国道５８号線（おがみ山バイパス）事業は，どのような状況になっているのか。大型事業なのでぜひ，説明会を開催して欲しい。

Ａ．おがみ山バイパス事業におきましては，９月県議会定例会において三反園訓知事より来年度（Ｈ 31 年度）から事業再開の表明がありました。県は来年度予算に必要経費を計上する方針であり，今後事業再開に必要な手続きを進めることとしています。

このため，地権者をはじめ地域の皆様を対象に「事業説明会」を開催し，改めて事業内容等について説明する方向で検討しているとの事です。本市としましても，おがみ山バイパス事業にあたっては，引き続き県と連携協力しながら，事業促進に努めてまいります。

Ｑ６　山田川の河口がふさがれている。トイレの浄化槽の汚染流出が心配なため早急な対応をお願いしたい。

Ａ．小湊山田川の河口につきましては，以前より要望をいただいておりますが，河口がふさがっていないため経過を観察しているところでございます。

今後もこまめに調査を行い，干潮時に河口がふさがりそうになった場合には，早急な対応を行ってまいりたいと考えています。

Ｑ７　老人クラブでバスを利用しての社会見学会があった。そのバスでＤＶＤを見れるようお願いしたい。

Ａ．当バスは，公共用バスとして，奄美市主催の関連事業や老人クラブ等の公共的団体の活動補助として利用いただいております。なお DVD 機器設置可能の有無を検討いたしましたが，主に以下の理由により，設置を見送ることといたしましたので，ご理解賜りますようお願い申し上げます。

（１）DVD 機器を設置するためには，バスの構造上，座席を減らし設置しなければならない。そのため，座席数の減につながり，効率的な活用ができないため。

（２） 設置箇所については，乗降口周辺への設置となるため，頭上の障害となる恐れがあるため。

Ｑ８　市小中学校の校庭の上にあるプールについて，ポンプで水を引き込んでいたが，ポンプの故障でまた，上流から水を引き込んでいると聞いた。以前は，危険な山道を学校の職員やＰＴＡ役員が登り，雨が降るとふさぎ止めたところに溜まった土砂の除去をしていた。早急に現状を確認して修繕して欲しい。

Ａ．市小中学校プールについては，現在，濾過機本体については異常はありませんが，濾過機ポンプについては使用できておらず点検の必要があります。ポンプ同様に電源制御盤装置の故障も発見したため，まずは，電源制御盤装置の修繕，そして濾過機ポンプの動作確認や点検を順次実施し濾過機を活用したプール利用に早期に取り組んでまいりたいと考えております。

その他、会場で出されたご質問やご意見及びアンケート結果については、
奄美市議会ホームページで掲載しておりますのでご覧下さい。

議会報告会当日のアンケートから

Ｑ１　回答者の男女比・年齢層

回答率
88.9%

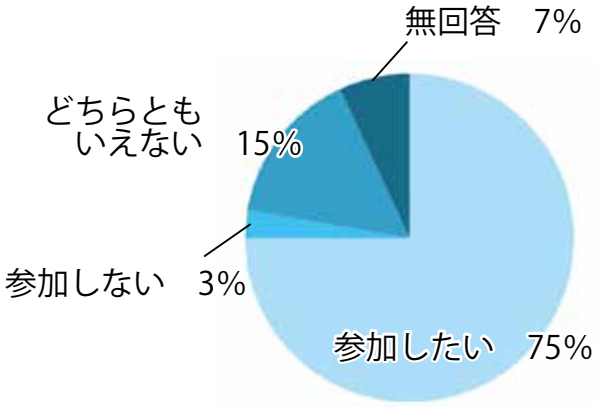
男女比

男性：　５４人
女性：　１３人
無回答：　５人

年齢層

２０代：　１人
３０代：　２人
４０代：　２人
５０代：　２３人
６０代：　２８人
７０代：　１２人
８０代以上：　３人
無回答：　１人

Ｑ２　次回も参加したいですか



Ｑ３　議会報告会でどのような情報が知りたいですか？

・議会全体としての動き
・奄美市の将来をどう考えているのか
・議員の活動状況
・当初予算の詳しい審議内容

Ｑ４　奄美市議会に対して望むことは何ですか？

・陳情された意見に対して、真摯に受け止めてほしい。
・議員の皆さま、ＳＮＳを公開して、市民とやりとりして下さい。
・市会議員は市民の代表であり、市当局と市民をつなぐ大切な絆であってほしい。
・議会が市民の身近に感じられる状況をつくることが、この報告会への参加者を増やすことにつながるのではないでしょうか。
・もっと地域にとけ込んで欲しい。
・議会報告会は、年間２、３回してほしい。
・土日に一日でいいから開催してほしいです。

Ｑ５　議会報告会に参加した感想を教えてください。

・自由な意見が出来て、とても良かったと思います。
・参加者があまりにも少ないので、もっと広報をした方がいいと思います。
・議員と直接話し合うことで、議員や議会が、身近に感じられた。
・議員定数について新聞等である程度は理解していたが、直接報告を聞いて理解できた。
・事業に対するピンポイントな質問から奄美市の将来という大きな質問まで、幅広い意見とその回答を聞くことができ、大変勉強になりました。
・もう少し時間がほしい。
・課題も含めて考えていかなければならない事も多くある事を考えさせられました。

皆さまから貴重なご意見やご要望をいただきました。今後の議員活動の中で有意義に活用させていただきます。議会報告会へ参加していただきありがとうございました。

各常任委員会の活動

総務企画

9月14日に、総務企画委員会の自主研修会として，講師に奄美自然環境研究会会長の常田守氏をお呼びし，「世界自然遺産登録へ向けて地元住民が知るべきこと」として講演会を開催しました。今後の政策立案・提言の参考となる内容でした。

産業建設

9月13日に末広・港土地区画整理事業、マリンタウン整備事業、大浜海浜公園リニューアル事業について現場視察を行い、事業の概要や現況について確認を行いました。

文教厚生

9月12日に大島児童相談所の現状と課題について児童相談所所長から説明があり、その後意見交換を行いました。

有志

10月10日にノネコセンターに視察に行きました。ノネコの現状について環境対策課の職員から説明を受けました。

奄美市議会の活動

豪雨災害義援金

「平成３０年７月豪雨災害義援金贈呈」

平成 30 年７月に、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨を観測し、河川の氾濫や浸水害、土砂災害等が発生し死者や行方不明者が多数となる甚大な災害が起こりました。

奄美市議会は、24 名全議員の善意で集まった 12 万円の義援金を被災者のために役立ててもらえるようにと、９月4日に師玉議長と戸内副議長から、朝山市長に手渡しました

議員研修会

「平成３０年度 第１回議員研修会」

奄美市議会では、毎年、議員研修会を行い議員の資質の向上に努めています。

平成 30 年度第１回議員研修会は、８月 27 日に市役所4階大会議室で講演会を開催しました。

講演会の講師には、株式会社クラインベスト代表の脇野真梨江氏を招き、「外国人観光客が訪れたくなる地域づくり」をテーマに講話をいただきました。

H30.8.20　中学生ひかり議会

H30.9.17　敬老祝賀会

H30.10.28　防災訓練

H30.11.13　新庁舎見学会

議会の動き

《８月》
４日 奄美祭り舟こぎ競争
５日 奄美祭りパレード
７日 議会だより編集委員会
８日 政策立案推進会議
２１日 政策立案推進会議
２７日 議員研修会
２８日 議会運営委員会
政策立案推進会議

《９月》
３日 議会開会
全員協議会
４日 一般質問（５人）
５日 一般質問（５人）
６日 一般質問（４人）
政策立案推進会議
議会運営委員会
１１日 本会議
全員協議会
１２日 常任委員会（文教厚生）
１３日 常任委員会（産業建設）
１４日 常任委員会（総務企画）
１８日 政策立案推進会議
２５日 最終本会議
全員協議会

《１０月》
３日 決算委員会
４日 決算委員会
５日 決算委員会
９日 全員協議会
１０日 県市議会議長会政務調査（青森県）
２５日 九州市議会議長会理事会（佐賀県）

第４回定例会の予定

12 December 2018

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6 開会	7 一般質問	8
9	10 一般質問	11	12	13 本会議	14 常任委員会	15
16	17 常任委員会	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26 最終本会議	27	28	29

議会をご覧になりませんか？

「傍聴」

議会は傍聴できます。
（事前連絡は不要です）
奄美市役所名瀬庁舎６階
にお越しください。

「議会中継」

議会の様子をインターネットで生中継しています。
是非ご覧ください。
奄美市議会 議会中継

市議会だより 編集委員会

〈委員長〉林山 克巳
〈副委員長〉松山さおり
〈委員〉元野 景一
崎田 信正
関 誠之
大迫 勝史
津畑 誠

編集あとがき

平成30年、災害列島日本をあらためて思い知らされる年となりました。地震、豪雨、猛暑、台風と北海道から沖縄まで、およそ自然災害に見舞われなかった地域はないという状況になっています。台風常襲地帯と言われる奄美にあって、ここ数年、不思議に直撃を免れてきた奄美大島も24号台風は、各地域に大きな爪あとを残しました。被害を受けたすべての人にお見舞いを申し上げます。

自然の猛威のもとでは、人間には、なす術がないように思われます。防災対策は、もはや想定外という言葉は使えないのではないでしょうか。想定外を想定することこそいま、求められているように思います。

まちづくりも同じです。奄美市は、世界自然遺産登録をめざし、中心商店街活性化、トンネルや港湾埋め立て、新庁舎建設、そして陸上自衛隊駐屯地など、奄美市の景色がどんどん塗り替えられていきます。それだけに、想定外を想定した将来を見据えた議論が必要だと思います私たち議員の果たす役割の大きさを痛感しているところです。

崎田信正